

飛躍的に進歩をとげている「抗がん剤」によるがん治療。
がん治療の基礎知識から最新情報まで
第一線で活躍するエキスパートが分かりやすく解説いたします。

知りたい 抗がん剤治療

日 時 平成24年2月26日(日)
13:00開場、13:30開会～15:30終了<予定>

会 場 ホテルメトロポリタン仙台 3F「曙」
仙台市青葉区中央1丁目1-1

対 象 一般市民、がん患者、がん経験者および家族

【参加費無料/定員200名(先着順)】

参加には事前にお申し込みが必要です

●お申込みいただいた方に聴講整理券をお送りいたしますので、当日ご持参ください。

- 1.ハガキ…住所・氏名・参加人数・電話番号を明記の上、
〒980-8575仙台市青葉区星陵町4-1 NPO法人 東北臨床腫瘍研究会へ
- 2.ファックス…上記内容を明記の上、022-717-8548へ
※締め切り/2月20日(月)必着



演者・講師 プロフィール



石岡千加史 (いしおかちかし)

1984年 東北大学医学部卒業
1988年 東北大学院修了
1992年 マサチューセッツ総合病院研究員
現在、東北大学加齢医学研究所教授、東北大学病院腫瘍内科長、同・化学療法センター長、日本臨床腫瘍学会理事、日本癌治療学会理事など。[専門] 腫瘍内科学。



西 和哉 (にしかざや)

1986年 東北薬科大学薬学部卒業
1986年 石巻赤十字病院薬剤師人職
1999年 石巻赤十字病院医薬品情報係長
2008年 日本病院薬剤師会認定がん薬物療法認定薬剤師



丹田 滋 (たんだしげる)

1984年 東北大学医学部卒業
1988年 東北大学助手
1994年 東北大学博士(医学)取得
マサチューセッツ総合病院研究員
1996年 仙台社会保険病院内科勤務
同病院腫瘍内科・部長などを経て2004年より現職



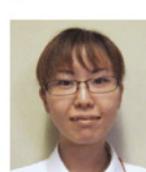
村川 康子 (むらかわやすこ)

1983年 弘前大学医学部卒業
2000年 東北大学医学部附属病院腫瘍内科助手
2005年 宮城県立がんセンター化学療法科診療部長
2008年 東北大学医学部臨床准教授(内科腫瘍内科担当)



大竹 隆晴 (おおたけのあきら)

1984年 東北薬科大学薬学部卒業
1989年 国立療養所金石病院薬剤科勤務
1991年～ 東北厚生年金病院薬剤科勤務
2008年 学位(博士/薬学)取得
現在、東北厚生年金病院にてがん化学療法業務に携わる。



吉田美貴子 (よしだみきこ)

国立仙台病院附属仙台看護貢献賞受賞
現・国立病院機構仙台医療センター外来副部長、
がん化学療法看護認定看護師

プログラム 第1部

テーマ『災害時のがん治療について』

司会 東北大学 加齢医学研究所 臨床腫瘍学分野 教授 石岡千加史

講演「災害時のがん薬物療法を考える」

演者 石巻赤十字病院 薬剤部 西 和哉

プログラム 第2部

テーマ「新しい抗がん剤について知りましょう」

司会 東北労災病院 腫瘍内科部長 丹田 滋

講演1.「分子標的薬とはどんなもの?」

演者 (地方独立行政法人宮城県立病院機構)

宮城県立がんセンター 化学療法科医師 村川 康子

講演2.「分子標的薬、その副作用って?」

演者 東北厚生年金病院 薬剤部 大竹 隆晴

講演3.「やっぱり気になるお金の話」

演者 (独立行政法人国立病院機構)

仙台医療センター 看護師 吉田美貴子

主催：平成22年度 厚生労働科学研究費補助金 がん臨床研究事業

「東北地方のがんネットワークによるがん診療連携拠点病院の化学療法の均てん化事業 (H22-がん臨床- 一般-034)」(石岡班)

宮城県がん診療連携協議会・化学療法部会、特定非営利活動法人 東北臨床腫瘍研究会

共催：東北大学病院、石巻赤十字病院、大崎市民病院、仙台医療センター、東北厚生年金病院、東北労災病院、宮城県立がんセンター

後援：宮城県、東北がんプロフェッショナル養成プラン